

概況(図1, 表1)

3月2~3日に房総丸(110ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮流路は遠州灘沖から伊豆諸島海域で33°40'N付近を東進し、太東岬南東方で接岸した後、東北東へ流去し、流型はN型であった。房総沖における黒潮の離岸距離は「平年並」であった。

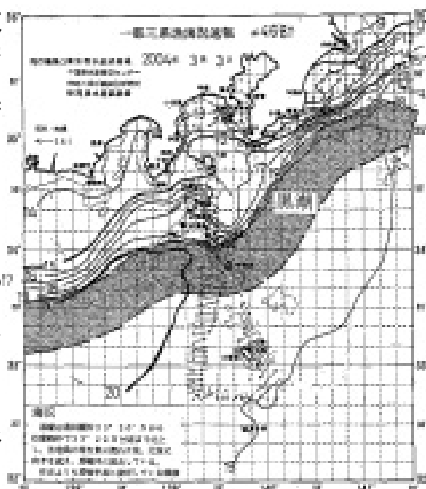


図1 一都三県漁海況速報

水温(表2, 図2・3・5)

海面では11~19, 100m深では10~19, 200m深では11~18であった。外房海域は概ね「平年並」で銚子・九十九里海域は概ね「やや低め」であった。平年偏差は、太東岬~九十九里沿岸域の海面では負の偏差が大きく、特に太東岬南東沖では-3.6となる観測点があった(観測史上最低の水温)。これらの冷水傾向は黒潮が犬吠埼南東方から東へ流去したことにより、隣接海域の鹿島灘海域にある親潮系冷水の影響を受けやすくなったことによると考えられる。

塩分(図4・5)

海面では34.1~34.8, 100m深では34.2~34.9, 200m深では34.4~34.8であった。太東岬~九十九里沿岸域は、34.2未満であり、鹿島灘海域にある親潮系冷水の影響を受けていたと考えられる。

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2004年3月)

基点	方向	距離(マイル)	階級
野島崎	南東	35	平年並
太東岬	南東	30	-
犬吠埼	南東	(50)	平年並

\* (数字は毎月速報(海上保安庁海洋情報部)より)

表2 水温の評価(2004年3月)

水深(m)	外房海域			銚子・九十九里海域		
	水温	平年偏差	評価	水温	平年偏差	評価
0	16.8	0.6	平年並	13.6	-1.4	やや低め
50	16.34	0.54	平年並	14.67	-1.06	平年並
100	16.33	0.95	平年並	12.58	-2.04	やや低め
200	15.33	1.99	やや高め	11.51	-1.86	やや低め

\*水温は各海域の評価点の平均値

流況(図1・2)

沿岸から15~40マイル付近に2ノット以上の流れがみられ、流向は概ね北東~東向きであった。野島崎南東方では30マイル沖付近のみに2ノット以上の流れがあり、黒潮強流帯の幅が小さかったものと考えられる。

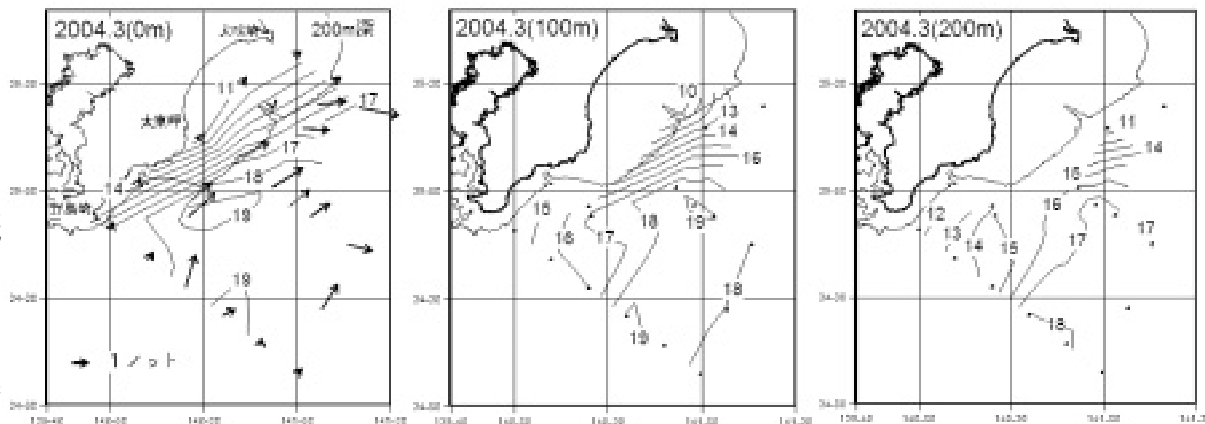


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

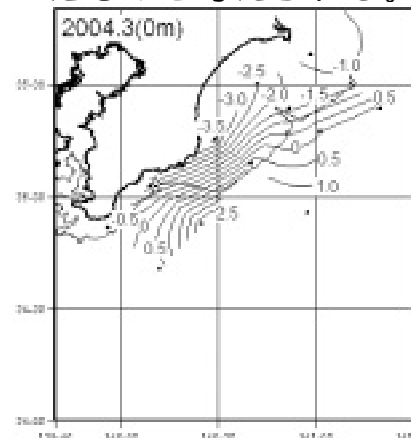


図3 水温の平年偏差

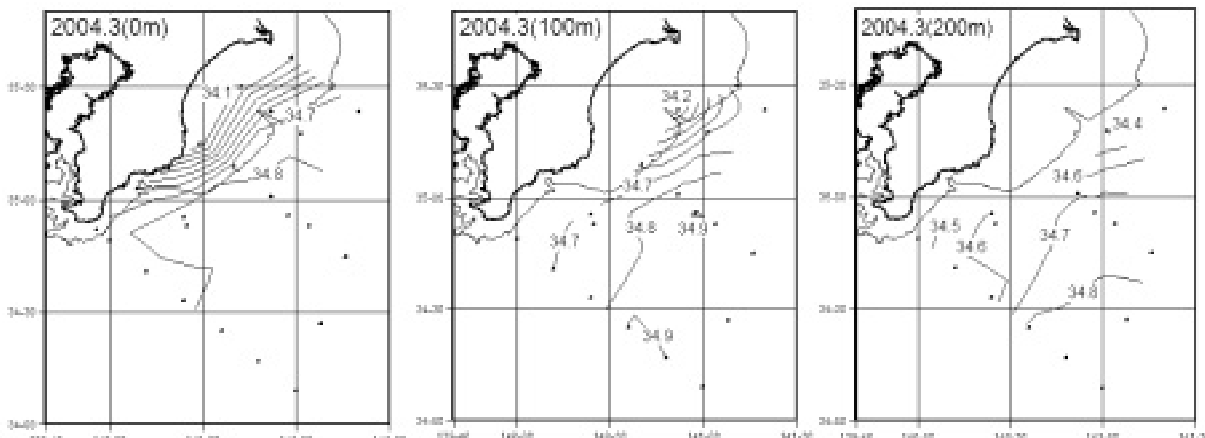


図4 塩分の水平分布

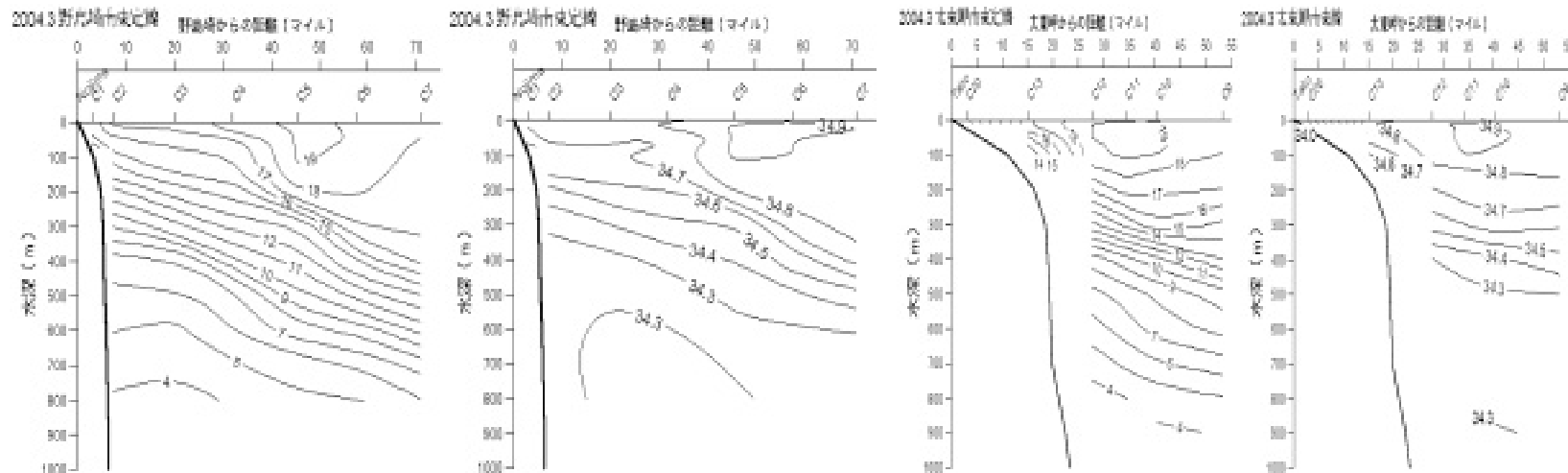


図5 水温と塩分の鉛直分布